

■公認テニス上級教師

●**養成目的** 民間テニスクラブにおいて、あらゆる対象に対する指導にあたり、スクールの運営・管理、カリキュラム編成、イベント企画に参画できる指導者を養成する。

●**役割** あらゆる年齢、レベルに対する指導にあたり、スクールの運営・管理、カリキュラム編成、イベント企画・立案に参画する。また、公認テニス教師の育成指導にあたる。

●**受講条件** 受講年度の4月1日現在満22歳以上で下記のすべての条件を満たす者。① 公認テニス教師有資格者。② テニスクラブにおいて中心的な役割を担っている者。または、こ

れから中心的な役割を担う者。③ テニスクラブオーナーの推薦がある者。※免除なし

●**カリキュラム** 共通科目192.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ） 専門科目80h

●**受講料** 共通科目113,400円（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ免除者は56,700円） 専門科目 126,000円

●**登録料(4年間)** 20,000円（初回登録時のみプラス3,000円）

●**更新のための義務研修** 資格有効期限内（4年間）に日本テニス協会または日本体育協会が認める研修会を受け、必要なポイントを獲得しなければならない。※研修ポイントの詳細については別途定める。

●**担当委員会** 財団法人日本テニス協会 公認指導者養成委員会

区分	カリキュラム内容		時間数		
			集合	その他	計
種目の特性に応じた 基礎理論	1	対象に応じた指導Ⅱ	1.5h	2h	3.5h
	2	テニスの指導技術Ⅱ	1.5h	2h	3.5h
	3	指導計画の立案、実施、評価	2h	2h	4h
	4	安全管理Ⅱ（レッスン管理を含む）	2h	3h	5h
	5	テニスクラブ・スクールのマネジメントⅡ	2h	3h	5h
	6	マーケティング・事例研究（スタッフ管理を含む）	3h	4h	7h
	7	人材育成	2h	3h	5h
	8	スポーツと環境	1.5h	1h	2.5h
	9	スポーツ行政（指定管理者制度を含む）	2.5h	0h	2.5h
	10	経営管理（財務を含む）	2h	2h	4h
	11	グループディスカッション	2h	2h	4h
	計		22h	24h	46h
実技・ 指導実習	1	フィーディング・デモンストレーション技術Ⅱ	2.5h	2h	4.5h
	2	グループ指導Ⅱ（少人数、多人数）	3h	3h	6h
	3	個人指導法Ⅱ	2.5h	2h	4.5h
	4	対象に応じた指導Ⅱ	3h	3h	6h
	5	ゲーム指導Ⅱ	3h	3h	6h
	6	体カトレーニング実技	2h	2h	4h
	7	ITN	0h	1h	1h
	計		16h	16h	32h
			38h	40h	78h

《専門科目における講習・試験の免除》

- 財団法人日本テニス協会普及員を取得している者は、公認テニス指導員の専門科目40時間の講習と検定のすべてを免除する。
- 指導実績に関する免除規定
 - デ杯、フェド杯、オリンピックいずれかの監督就任を経験した者は、公認テニスコーチの専門科目70時間の講習と検定のすべてを免除する。
- 専門科目免除適応コースに関する免除について
 - 旧公認テニスC級教師の免除適応コース修了証明書を取得している者については公認テニス指導員と公認テニス教師の専門科目の講習を免除する。
- 財団法人日本テニス協会普及員における検定の免除について
 - 旧レイティングの4.0を保持している者は、普及員の検定における、「デモンストレーション能力」テストを免除する。
- 競技実績による免除規定
 - 全日本選手権大会（一般の部）本戦シングルスもしくは本戦ダブルスに出場経験のある者は、公認テニス指導員の専門科目のうち、実技講習18時間を免除する。その際、講習料に関する免除は行わない。
- 財団法人日本テニス協会S級エリートコーチ資格を保有している者は、公認テニス上級コーチの専門科目60時間の講習と検定の全てを免除する。
- 財団法人日本テニス協会「上級指導員飛び級制度」の適用を申請後認められた者は、公認テニス指導員の専門科目の講習と検定のすべてを免除する。